

次の文を読み、問1～2に答えよ。

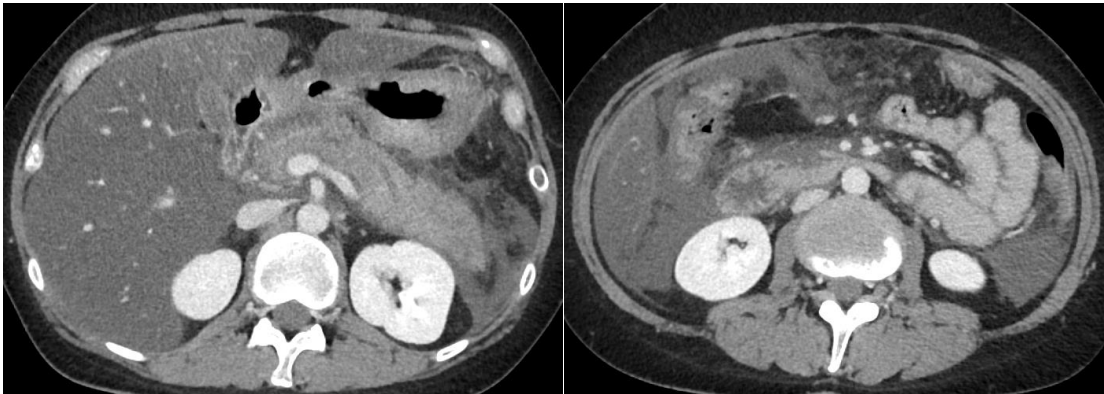
28歳の女性。昨日夕方より臍周囲から上腹部痛を自覚した。徐々に増悪し、本日昼過ぎには我慢できないほどの痛みとなったため来院した。20歳から飲酒を始め、最近では焼酎約3合を毎日飲酒していた。身長161cm、体重58kg。体温37.0℃。心拍数92/分、整。血圧133/78mmHg。呼吸数20/分。

身体所見：心窩部に強い圧痛を認める。腸蠕動音は減弱している。

血液所見：赤血球478万/ μ l、Hb14.8g/dl、白血球11,930/ μ l、血小板13.8万/ μ l。

血液生化学所見：アルブミン3.0g/dl、アミラーゼ557U/l、リパーゼ1826U/l、クレアチニン0.88mg/dl、Na138mEq/l、K3.9mEq/l、Cl90mEq/l、Ca6.7mg/dl、CRP10.91mg/dl。

腹部造影CTを図に示す。



問1 この疾患の原因となりうるものとして適切でないものはどれか。1つ選べ。

- (a) 低体温症
- (b) L-アスパラギナーゼ（白血病治療薬）
- (c) 脂質異常症
- (d) 内視鏡的逆行性胆管膵管造影<ERCP>
- (e) 副甲状腺機能低下症

問2 この患者で4週以降に発症しうる注意すべき合併症はどれか。1つ選べ。

- (a) 膵管癒合不全
- (b) 膵癌
- (c) 胆石症
- (d) 被包化壊死貯留<Walled-off necrosis>
- (e) 後腹膜線維症

次の文を読み、問3~4に答えよ。

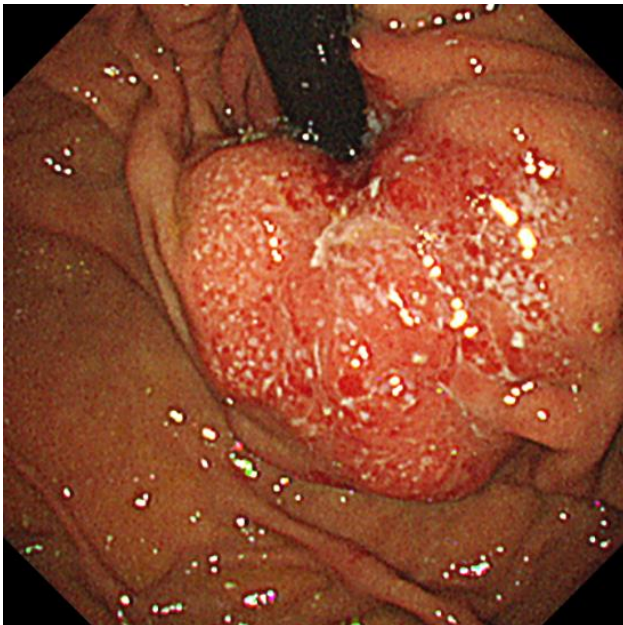
60歳の女性。進行食道癌に対して化学療法を施行している。3ヶ月前より食事のつかえ感を自覚するようになった。1ヶ月前より水分の嚥下も困難となり、体重が10kg減少した。CTで多発肺転移と肝転移、および噴門部リンパ節の増大を認めた。Performance Status<PS>1で、今後は放射線緩和照射の後に自宅退院の予定である。身長160cm、体重44kg、BMI17kg/m²。体温36.5℃、脈拍70/分、血圧100/60mmHg。

血液所見：赤血球339万/ μ l、白血球5870/ μ l、血小板23.3万/ μ l。

血液生化学所見：総蛋白6.5g/dl、アルブミン3.3g/dl、クレアチニン0.51mg/dl、尿素窒素10mg/dl、Na142mEq/l、K4.0mEq/l、Cl98mEq/l。

経鼻上部消化管内視鏡を図に示す。

入院後、栄養サポートチーム<NST>に介入を依頼した。



問3 この患者の1日の摂取量として適切なのはどれか。

	総摂取エネルギー量(kcal)	食塩(g)	蛋白質(g)
a	800	7	60
b	800	14	30
c	1,400	7	60
d	1,400	14	30
e	2,000	7	60
f	2,000	14	30

問4 この患者に最も適した栄養の投与経路はどれか。

- (a) 経口摂取
- (b) 経鼻胃管
- (c) 胃瘻
- (d) 末梢静脈栄養
- (e) 中心静脈栄養

解答

問 1. e

問 2. d

問 3. c

問 4. c